

CSEC

## データで見る コンピュータセキュリティ 研究会の活動

寺田真敏 (株)日立製作所

### 研究会の設立：1998年4月

コンピュータセキュリティ (CSEC) 研究会が産声をあげたのは、今から10年前の1998年4月のことです。今日は、研究会を運営するという目線から、この10年間の研究会活動をデータとともに振り返ってみることにしましょう。

### 研究会活動：研究発表会：36%

研究発表会は、年に4回、5月、7月、12月、3月に開催しています。7月は電子情報通信学会情報セキュリティ研究会、技術と社会・倫理研究会と、3月はマルチメディア通信と分散処理(DPS)研究会との合同発表会です。発表件数は2004年以降、約150件/年、開催場所のカバー率は36%(=17/47都道府県)となっています(図-1, 2)。

また、研究発表会で実践的な活動を紹介するための特別講演も随時企画しています。ただ、最近では発表件数も増えていることから、なかなか特別講演枠の確保に至らずという状況です。この状況を打開し、早期に再開したいと考えています。

- ISPとして何を守るべきか(2005年3月)
- 商用IDSの最前線(2005年5月)
- サイバー犯罪・サイバーテロの現状と対策(2006年3月)
- ROOTKITの脅威とその現状(2006年5月)

### 研究会活動：シンポジウム：21%

CSEC研究会が主催するコンピュータセキュリティシンポジウム(CSS)は、年に1回、10月に開催しています。発表件数は2003年以降、120件前後、開催場所のカバー率は21%(=10/47都道府県)となっています(図-3, 4)。

ここで、CSSの発表内容の傾向を見てみましょう(図-5)。2004年はBlasterワームなどの大規模なワーム感染活動

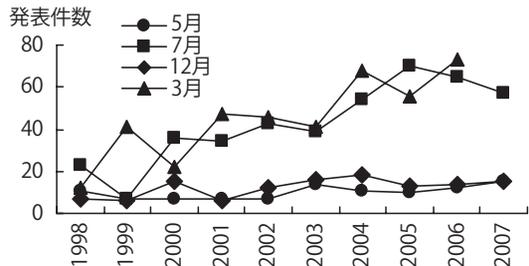


図-1 発表件数の推移

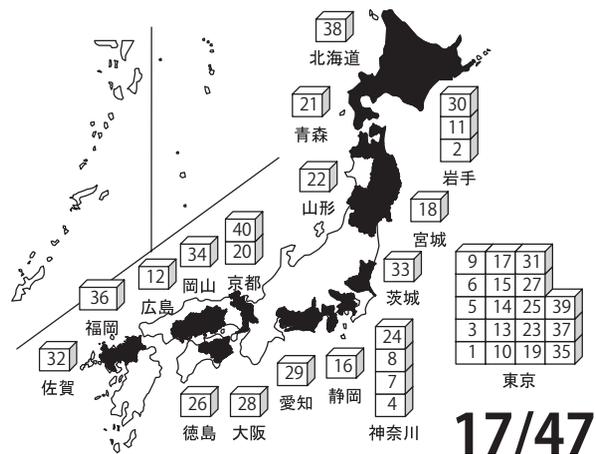


図-2 研究発表会の開催場所(ボックス内は開催回)

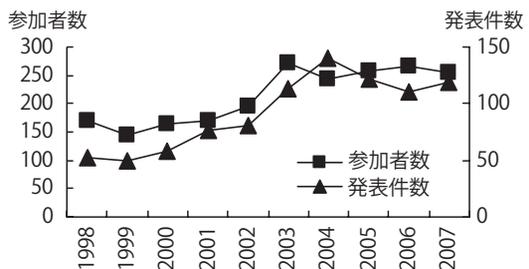


図-3 発表件数の推移

を阻止するという社会的なニーズもあり、不正アクセス/侵入検知/ウイルス対策の発表が多く見られました。

2006年以降はセキュリティ実装技術、セキュリティ評価/監査の発表が増えています。たとえば、CSS2006では、次世代の暗号技術として注目を集めているペアリング暗号を携帯電話上にJava<sup>☆1</sup>を用いて実装した報告や暗号学的安全性モデルを応用して電子透かしアルゴリズムを評価する報告などです。発表内容からも、セキュリティの研究が次のフェーズに入りつつあることを実感できます。

### 研究会活動：国際会議：0.6%

CSEC研究会では、2005年5月30日～6月1日、幕張メッセでIFIP (International Federation for Information

☆1 Javaは、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems, Inc. の商標または登録商標です。

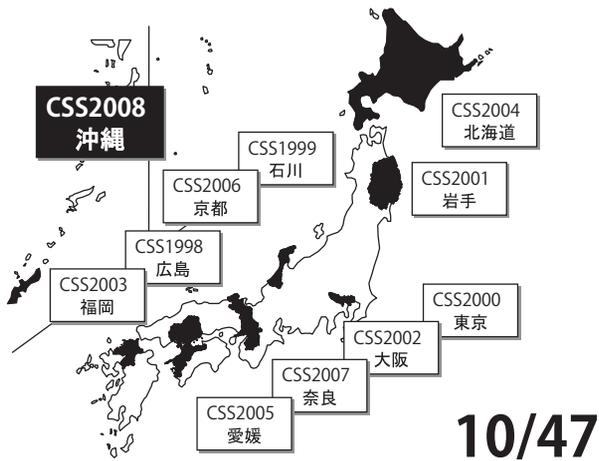


図-4 CSSの開催場所

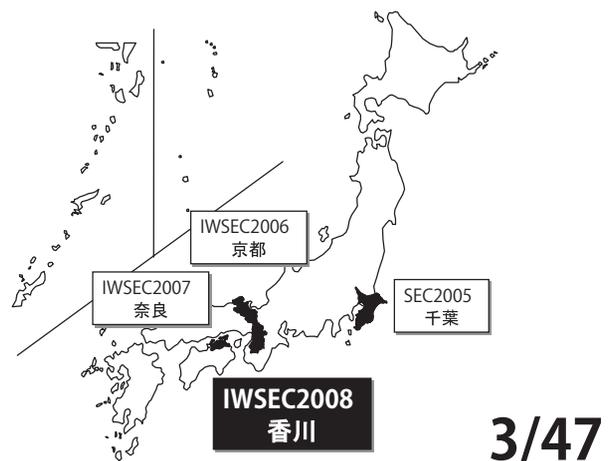


図-6 国際会議の開催場所

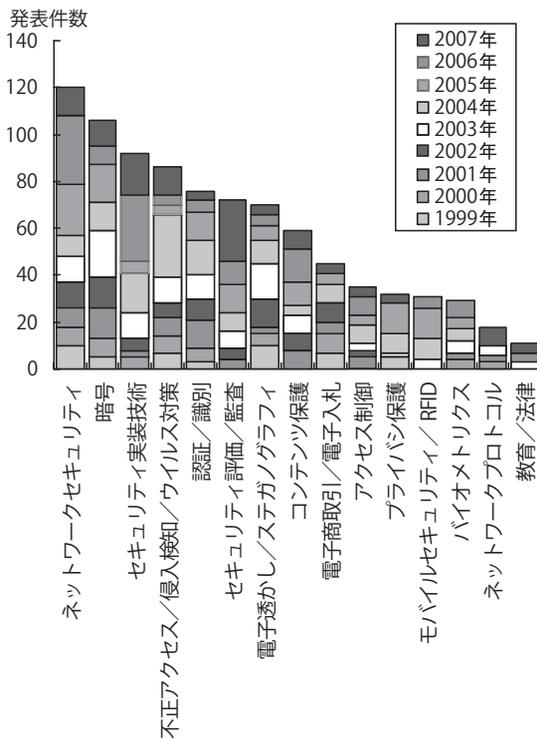


図-5 CSSの発表内容

Processing) の TC (Technical Committee) 11 主催の第 20 回 International Information Security Conference (SEC2005) の開催を支援しました。また、翌 2006 年からは、日本における情報セキュリティ研究の一層の発展と国際化を目的として、CSEC 研究会と電子情報通信学会情報セキュリティ研究会との共催、電子情報通信学会情報通信システムセキュリティ時限研究会との協賛という形で国際ワークショップを開始しました。開催場所のカバー率は 0.6% (=3/47 都道府県)ですが、今後海外開催も視野に入れた活動を続けていく予定です(図-6)。

### 今後の研究会活動に向けて

足早ですが、10 年間の研究会活動をデータとともに



図-7 CSS2007 での電子投票の実践

振り返ってみました。

研究会の登録者数は、毎年少しずつですが増加しており、セキュリティへの感心の高さを感じています。CSEC 研究会では、今後とも、各方面の研究者の意見交換の場の提供、セキュリティ研究の活性化を支援していきたいと考えています。すでに、10 回目を迎えた CSS2007 では、キャンドルスターセッション(ナイトセッション)やデモ展示優秀賞の投票に電子投票(研究活動の実践の場)(図-7)を試みるなど、新たな取り組みを始めています。

皆さん、CSEC 研究会で、新たな取り組みを一緒に企画していきませんか？

(平成 20 年 1 月 20 日受付)

寺田真敏(正会員)

masato.terada.rd@hitachi.com

(株)日立製作所システム開発研究所 主管研究員 / Hitachi Incident Response Team チーフコーディネーションデザイナー。コンピュータネットワーク、ネットワークセキュリティの研究開発に従事。2006 年から CSEC 研究会 主査。